田邉　博智　派遣先／スウェーデン

期間／平成29年7月20日～8月17日　スポンサーLC／松本LC8

この度は、私にスウェーデン派遣という素晴らしい機会を与えてくださったライオンズクラブの皆様、本当にありがとうございました。私は今回の派遣でやりたいことが二つほどありました。それはスウェーデンの医療を知ることと、料理をふるまうことです。

ホームステイが始まった時にホストマザーにウプセラという街の大きな病院へ連れて行ってもらいました。その病院は本当に大きく、ひとつの小さな町のようになっていました。

日本ではひとつの建物にいくつもの科が入っていますが、そこの病院では建物ひとつにつき科がひとつというシステムでした。更には、スウェーデンは移動手段などの設備が整っており、身体の不自由な人でも気軽に出かけられるのではないかと思いました。

もう一つ、私がしたかった料理です。私は海外へ行く前からホストファミリーに親子丼をふるまいたいと思っていました。初めての環境で作る日本食でしたが、ホストファミリーの家族はとても喜んでくれました。私は家族が喜んでくれた笑顔をみて、心から嬉しくなりました。本当に作ってよかったと思います。

私自身、英語が得意でなくコミュニケーションを上手く取れるかがとても不安でした。しかし、日が過ぎるたびにその不安はなくなっていきました。英語が上手くなったかはわかりません。ですが、この派遣で私は大きな自信をつけることが出来ました。この派遣で、学んだことはこの先の人生で確実に生きると思います。

この度は本当にありがとうございました。

三原　大空　派遣先／オーストラリア

期間／平成29年7月20日～8月29日　スポンサーLC／塩尻桔梗LC

オーストラリアで7月21日から40日近く、充実の日々を送りました。

最初の10日間はシドニー北東のマッコリー湖のほとりで40人が集うキャンプで過ごしました。印象的だったのが、夕食後に順番で自国の文化を英語で披露し合うこと。当初、友達との会話で聞き取れない部分があっても、気後れして質問できませんでした。そんな私にイタリアやフィンランド、ブラジルからの友達が「楽しみにしているよ」と声を掛けてくれたのです。質疑応答形式の内容にジョークも交えて日本を紹介すると、結果は大好評。これを機に私は、分からないことは積極的に尋ね、友達と一緒に心から笑い合えるようになりました。

その後は日本の男子学生と一緒に、シドニー南方のウロンゴンなどでチンさん、プラトさん両ご家庭に2週間ずつお世話になりました。チンさんご夫婦は郊外のキーラ山にハイキングに誘ってくれました。市街地越しに見渡した海の眺めは忘れられません。プラトさん宅では一緒に肉じゃがと卵焼きを作りました。現地では珍しかったようで、皆さん興味津々。「おいしい」との声がお世辞でない証拠に、お代わりしてくれました。また、アパレル（衣服製造・流通）分野に関心がある私は、両ご家庭でのお手伝いを通じ、太陽と風、広い敷地を生かした洗濯法や干し方があると実感しました。

今回の滞在で多様な国の方々とコミュニケーションを図り、自分の考えを伝える自信を持てました。貴重な体験は、ライオンズ関係者全ての皆さまのおかげです。あらためて感謝申し上げ、この経験を今後の人生に役立てていく所存です。